

千代田図書館 企画展示

神田の文化人、齋藤月岑と『江戸名所図会』

千代田図書館では、江戸とその近郊の名所・旧跡・風俗などを絵入りで紹介した『江戸名所図会』の作者であり、町人文化が最盛期を迎える神田に生まれ育った齋藤月岑（さいとうげっしん）について、その人物や著作物などをご紹介します展示を行います。ぜひご注目ください。

■「神田の文化人、齋藤月岑と『江戸名所図会』」

『江戸名所図会』は、江戸の神社仏閣・風俗・行事などを紹介した江戸時代後期の案内書で、読みやすい文章といきいきとした挿絵で江戸のガイドブックとして当時の人々に広く親しまれました。現代では、江戸学における基本書の一つとなっており、『半七捕物帖』（岡本綺堂）などの時代小説や時代劇においても、当時の地理や人々の生活を知ることができる情報源として重用されてきました。

『江戸名所図会』の作者である齋藤月岑は、町人文化が最盛期を迎える神田に生まれ育ち、江戸が東京へと大きく変わる時代を生きた人です。『江戸名所図会』をはじめ江戸学の基本書に教えられる『東京歳事記』や『武江年表』などを世に送り出しました。

この展示では、近世最大の地誌学者である齋藤月岑とその著作を紹介するとともに、気軽に手に取れる関連書籍などを集めました。

会期：3月29日(月)～5月22日(土)

場所：千代田図書館9階＝展示ウォール

主催：千代田図書館、市井人・齋藤月岑に学ぶ会

協力：国文学研究資料館、国立国会図書館、(株)人文社、東京都江戸東京博物館、東京都公文書館

※齋藤月岑／文化元年(1804年)～明治11年(1878年)

幕末期の神田で町名主を務め、神田の文化人と言われるほど多くの本を書いて歴史的事柄の記録を残しています。名主として仕事をする際は「齋藤市左衛門」、個人的な文化活動の際には「齋藤月岑」を使っていました。

展示数

・10点（資料：4タイトル／9冊、浮世絵：1枚）

資料『江戸名所図会』4冊

『武江年表』（正篇）

『東都歳事記』4冊

浮世絵『名所江戸百景』（復刻版）

・関連図書資料（貸出可 ※一部、貸出不可資料あり）：約200点

■関連ミニ展示「江戸の名所絵くらべ」

名所を題材にした書物や浮世絵が各地で数多く出版されました。江戸では、代表的な名所案内書の『江戸砂子』、浮世絵の『絵本江戸土産』や『名所江戸百景』、双六の『東京名所案内壽語録』など形式も様々です。同じ場所が描かれた江戸の名所絵から、それぞれの絵師が捉えた名所の見所や視点の違いをご覧ください。

会期：3月29日(月)～5月22日(土)

場所：千代田図書館9階＝ミニ展示コーナー（アクリルケース8連）

展示数

・15点（資料：5タイトル／12冊、浮世絵：2枚、すごろく：1枚）

資料『江戸名所図会』8冊

『江戸砂子』

『絵本江戸土産』

『狂歌江都名所図会』

『江戸名所案内記』

浮世絵『名所江戸百景』（復刻版）2枚

すごろく『東京名所案内壽語録』

■関連イベント「江戸の町名主と『江戸名所図会』」

江戸学の基本書とされる『江戸名所図会』の作者は、神田雉子町の名主を勤めた斎藤月岑でした。江戸には約250人の名主がいて、幕府と市民のパイプ役、住民調査、治安維持など、支配する町を維持していく全てに関わっていました。今回は『江戸名所図会』や町名主の生活などから江戸の文化についてお話しします。

日時：5月21日(金) 19:00～20:30

場所：千代田図書館9階＝特設イベントスペース

定員：40名（申込先着順）／参加費無料

講師：北原進（きたはらすすむ）氏（立正大学名誉教授、「市井人・斎藤月岑に学ぶ会」顧問）

協力：市井人・斎藤月岑に学ぶ会

申込：5月6日～千代田図書館 電話または図書館にて（平日10時～18時）

本件お問合せ：千代田図書館 広報担当：坂巻・米村 TEL 03-5211-4288

お客様お問合せ：TEL 03-5211-4289・90／千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10階

千代田区立図書館ホームページ <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp>